



月2回刊=1677号
2025年7月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

7.16 人員確保要求書・総合案内員継続署名提出

128人の人員不足 改善要求へ



▲人員確保に向けた基本姿勢を質すため交渉に臨む県職労交渉団



▲島山人事課総括課長に要求書と署名を手渡す小田嶋中央執行委員長(右)

7月16日、県職労は自治体業務・公共サービスの水準の維持・提供のためには業務実態に見合う人員確保が不可欠であるとの認識の下、知事あての「人員確保に関する要求書」を島山人事課総括課長に提出した。併せて「総合案内窓口継続を求める要求書」と「総合案内員配置継続を求むる署名」(217枚・1708筆)を提出し、人員確保に向けた基本姿勢を質すため、交渉を行った。

人員確保

分会基礎調査に基づいて128人の人員要求を示し、定数増及び業務実態に応じた人員確保を求めたことに對し、人事課は「振興局や出先機関を直接訪問して職場の現状や課題を聞いてみる」「会計年度任用職員を含め、行政機関で一定の勤務経験を有する者を対象とした一般事務職の任期付職員の募集を開始した」「あらゆる手段を講じてマンパワリー確保に取り組んでいく」とした。

60歳超職員定着による人員確保

育児休業代替職員による欠員解消を質したところ、「ワーク・ライフ・バランス定数は前年度と同水準を確保しているが、同職種の職員の配置が困難な部署もある」「予算額を前年度より多く確保している。会計年度任用職員による代替職員の配置要望は主管室課を通じて人事課に相談いただきたい」とした。

2025参議院議員選挙 比例代表「岸まきこ」、岩手選挙区「横沢たかのり」ともに再選



▲万歳をする岸まきこさん(左から2人目)

7月3日公示、20日投開票の第27回参議院議員通常選挙において、比例代表・自治労組織内「岸まきこ」は14万7648票(うち岩手県15477票)を獲得し、再選を果たした。21日午前5時41分頃に当選確実となり、自治労本部の石上千博中央執行委員長(写真左)、鬼木まこと参議院議

員(写真右から2人目)など陣営関係者と万歳したうえで、岸さんは「皆様からお預かりした議席の重みを忘れず、引き続き現場目線で頑張る」と表明した。岩手選挙区「横沢たかのり」は27万8888票を獲得し、再選を果たした。20日20時の投票終了後すぐに当選確実となり、盛岡市大通の事務所で陣営関係者と万歳した後、報道機関のインタビューに応じ、「物価高騰対策にスピード感を持って取り組む」と表明した。

今回の参議院議員通常選挙の投票率は全国で58.51%(前回比6.46ポイント増)、本県で59.10%(前回比3.72ポイント増)となっており、投票日が3連休の中日で投票率の低下が想定されたものの、結果的には想定に反し、投票率は伸びる結果となった。

私たちの運動課題のうち政治に関する内容を国政へとなぐパイプを維持できたことは非常に有意義であり、重要な結果である。県職労は、労働者の暮らしを守り、働きやすい環境の実現に向けて、引き続き制度・政策要求に取り組んでいく。



鬼木まことHP
岸まきこHP



▲報道各社のインタビューに応じる横沢たかのりさん

「じちろう共済スポット募集」のお知らせ

組織強化拡大と自治労共済利用促進にご協力をお願いいたします!

- じちろうセツ共済
じちろう共済未利用の方向けにスポット募集を開始いたします。新採用職員の皆さまは、もうすぐ試用期間を終えて本採用となることから、自家用車の購入を検討しているとともに、自家用車による通勤やレジャーについても検討していることと思います。
自家用車を購入するのであれば、じちろう共済が扱っているマイカー共済の利用をお勧めします。マイカー共済は、団体割引(30.0%)が適用されるほか、失職(公務員は拘留刑以上で失職)防止のための弁護士費用等補償特約が付いております。自家用車を持つと遠出する機会が多くなるかと思いますが、せつかつくんだ公務員人生が事故で台無しなのは非常に勿体ありませんので、是非この機会に見積を依頼のうえ、積極的な利用をお願いいたします。
また、団体生命共済は、健康告知義務があり、健康診断で要精密検査となり、生活習慣病と診断された場合、健康告知の段階で利用をお断りされる危険性が生じます。このことから、生活習慣病になりづらい若いうちに利用するのがベストですので、団体生命共済についても積極的な利用をお願いいたします。
- 募集期間：8月18日(月)から9月19日(金)まで
- 集約(提出)日：9月26日(金)必着
- 共済期間：11月1日(金)から満期日(翌年9月末)まで

これに對して人事課は「ふるさと振興部に對し、検討を求めている段階であるため、現時点において方向性は定まっていない」「各広域振興局において、当該職の必要性や仮に廃職となつた場合の代替策等について幅広く検討している」「今後も、公務の運営は任期の定めのない常勤職員を中心として行う原則を基本に、適正な人員確保に努めていく」とした。

第五世代

皆さんは、家庭や仕事の出張で外に行く際、残っている人達にどのような言葉をかけますか?無言のまま出発していませんか?あるおもしろい研究データがあるので紹介したい!いざこのように聞かれると困るかもしれないが、普段から意識せずに「行ってきます」「気を付けて」という言葉の会話のラリーをしている人が多いと思う。一見、なんの変哲もない会話かと思ふが、ある研究ではこの会話があるだけで、外出時の交通事故の確率が7%減るといふ結果が出ている。事故率が減る要因として、相手から「気を付けて」と言われることで、脳が気を付けなさいいけないという洗脳状態となり、普段より冷静になれるというところらしい!皆さんの職場では、このような同僚とのコミュニケーションをとれていますか?仕事をしていく上で、日頃からコミュニケーションがとれていれば、いざ何かあれば仲間のサポートがきたり、逆に何かあった時は助けがくれたりと働きやすい職場になると筆者は考える!▼会話の一つとして、今回紹介した会話のラリーを参考に皆さんも実践してほしい。

労働組合で新たな仲間と交流を深める

自治労県本部新入組合員・新規採用者交流会

7月12日、自治労岩手県本部主催の「新入組合員・新規採用者交流会」がエスポワールいわてで開催され、県内自治体や関連団体の新入組合員等37人（うち県職労16人）が参加した。

主催者の及川隆浩県本部執行委員長より「行政の仕事というものは、やはり人と人とのつながりできていく。この機会に自治体を越えて、いろんな人、そしていろんなことを知っていただきたい」とあいさつをいただいた。

講演の部分では、初めに岩手県本部書記次長より「労働組合を知ろう」と題して、労働組合とはどういった組織なのか、なぜ必要なのか、民間企業にも労働組合があること、労働組合の活動について講演を受けた。

次に、吉本興業所属の天



▲天津 木村卓寛さんの講演を聞く参加者

津 木村卓寛さんより、2021年3月に岩手へ移住して感じた岩手の魅力について講演を受けた。



▲講演する天津 木村卓寛さん

木村さんは、岩手の魅力は自然の豊かさ、食べ物がおいしい、人が温かいの3つであるとおっしゃっていました。自然の豊かさについては、四季の美しさがはつきりしており、特に紅葉や雪景色、春の桜、夏の自然などを通じて日本の四季を感じられることが魅力であると語った。食べ物のおいしさについては、じゃじゃ麺やしどけ、ホヤなどを挙げて初めて食べるものが多く驚いたことや東京などの都会の野菜と比べ、色、味、新鮮さが違って岩手の野菜はおいしいし、農畜産物全部がベースが高いということも語ってくれた。また、仕事で47都道府県をいろいろ行ってきた、ある程度特産品なども食べてきた気がしたが、岩手で初めて食べたものがたくさんあって、なんで今まで知らなかったんだらうと考えると、岩手の方は自分たちのことをアピール下手と思うかもしれないが、秘密保持能力が高

く、情報として県外に漏れていないという話も聞いた。人の温かさについては、東京や大阪などの地域とは違い、独特の人間関係に驚いたと述べ、岩手人のマナーの良さについて、横断歩道での譲り合いや会釈などを例に挙げ、感動したエピソードを紹介した。最後に、岩手の人が当たり前に感じていることの中に、素晴らしいものがあることに気づき、それを大切にすることで、岩手の温度が上がり、幸福感がさらに上がると語った。

講演3つ目は自治労共済から「自治労共済について」と題して、じちろう共済とは何なのか、自治労共済を勧める理由やどういった制度があるかなどから始め、「団体生命共済」については、これから保証を考えると、これを知っておきたいことについて講演いただき、「長期共済」や「税制適格年金」については、早く始めるほどお得な積み立て制

北上・久慈支部 25支部体制確立

県職労北上支部は6月12日、久慈支部が7月15日に今年度の支部役員選挙結果を公示した。立候補者全員が信任され新体制を確立した。



内藤北上支部長

役職・氏名は次のとおり。

【北上支部】
支部長 内藤 善美（市農務センター）

【久慈支部】
支部長 大崎 勝弘（林務部）

副支部長 小原 善一（農業大学校）
書記長 東城 直貴（北上土木センター）
書記次長 伊藤美智代（農業研究センター）
執行委員 千葉 剛（農林整備センター）
小菅志保子（農業大学校）
薄衣麻里子（農業普及技術課）
長嶺 達也（農業研究センター）
高橋 拓也（農業研究センター）
加藤 真城（農業研究センター）
会計監事 田村 嘉伸（北上土木センター）
中村 信久（保健福祉センター）



大崎久慈支部長

度について講演いただいた。「マイカー共済」については、お得な団体割引と独自の失職防止制度について講演していただいた。

交流レクリエーションでは、6グループに分かれてゲームを2つ行った。1つ目は、バナナサンドというテレビ番組内の「あたまおしりゲーム」というリズムに合わせて最初の文字と最後の文字を出題し、10秒でより文字数が多い単語を考えられるか？というゲームだ。例えば、最初の文字が「お」で最後の文字が

青年婦人部第60回定期大会

日時：2025年9月6日（土）
場所：岩手県公会堂21号室

各支部の青年婦人部代議員の出席をお願いします



▲交流レクリエーションのようす



▲県職労から参加した仲間

「い」の場合、「おおたにしようへい」という単語だと最初と最後の文字の間に7文字あることから7ポイント獲得できる。2つ目のゲームは逆3連想ゲームというお題に対して連想される3文字の言葉を制限時間2分で多く考えたグループの勝利というゲームを行った。例えば、お題が「岩手県」の場合、「わんこ」「みやこ」「けんじ」「ひろい」「にのへ」など連想される3文字がある。

講演ではみんな緊張していたが、交流レクリエーションで緊張もほぐれ、他単組の参加者との交流を深めることができた。

県職労青婦部としても今後、交流の場を作り、つながりを広げていく中で加入促進にも取り組む。各支部においても引き続きの加入促進の取り組みをお願いする。

副支部長 深澤 明子（久慈農務センター）
書記長 田代こよみ（経営企画・審判指図書）
書記次長 樋口 俊明（土木部）
執行委員 平野 陽（保健福祉環境部）

副支部長 高橋 憲明（水産部）
書記長 琵琶坂育雄（農務部・農務センター）
書記次長 葛西 昌彦（保健福祉環境部）
執行委員 鈴木 強史（農務部・農務センター）

公務員賠償責任保険制度の特長

セクハラ・パワハラ の 争訟費用(応訴する場合) 損害賠償金も補償します!*	訴訟対応費用 (応訴のために要した交通費、宿泊費等) も補償します!*	初年度加入日より前に おこなった行為に 起因する請求も補償します!*
退職後も5年間の 補償が継続します!*	他の地方公共団体や公益法人等へ 派遣中の職務行為 も補償します!	専門職 [※] の 業務に起因する請求も補償します!

加入対象者 自治労共済生協の組合員かつ、地方公共団体[※]または特定地方独立行政法人(公務員型)に所属し、会計年度任用職員含む地方公務員の身分を有する職員(特別職[※]、警察職、司法警察員は除く)となります。

加入対象外 ① 地方公共団体とは、以下の団体を含みます。○地方自治法第1条の3第2項に定める普通地方公共団体(都道府県および市町村)○地方自治法第1条の3第3項に定める特別地方公共団体(特別区、地方公共団体の組合、財団法人および地方農林業振興)○地方公務員法に基づいて設立された地方公営企業
② 知事、副知事、市長、副市長、等を除く。地方公務員法 第3条 第3項 第3号以外の各号に該当する場合、加入対象外です。
③ 評議員の方は加入対象外です。加入資格がなくなった方は解約の手続きが必要です。所属の組合にご相談ください。
④ 退職時に中途解約せず、満期まで契約を保持することで、退職後5年間の補償が適用されます。

保険期間 2025年10月1日 午後4時～2026年10月1日 午後4時まで
受付締切日 前月15日まで(8月9月発効なし)
※10月発効の場合のみ2025年8月15日(金)まで
※各組合ごとに独自の締切あり

詳細はこちらを
ご参照ください。



公務員賠償責任保険制度

自治労共済生協 組合員の皆さまへ
早めのご加入をおススメします!

項目	タイプS(3億円)	タイプA(1億円)	タイプB(5,000万円)	タイプC(3,000万円)
年間保険料	7,440円	6,240円	4,800円	2,880円
法律上の損害賠償金・弁償金 および争訟費用(合算) 1請求・保険期間中の支払限度額	3億円	1億円	5,000万円	3,000万円
訴訟対応費用 1請求の支払限度額	500万円			
初期対応費用 1事故の支払限度額(うち、3人免状費用は 被保険者1名あたり3万円が限度)	500万円			

記載の内容は「公務員賠償責任保険制度」の概要を紹介しています。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご不明な点がございましたら、代理店までお問い合わせください。

